

第3号議案 第26期（2024年度）事業計画（報告）

災害支援関連では、令和6年能登半島地震の被災地である石川県能登半島に、継続的な支援活動を行いたい。特に今年度は、大阪大学などと連携して拠点を構えている七尾市をはじめ、輪島市や穴水町などへ、企業や大学などを連携しながら社会人や学生ボランティアと訪問し、家屋の片付け作業だけではなく、仮設住宅での交流イベントや子どもの遊びでの支援活動などにも関わっていきたいと考えている。また、コロナ禍で訪問を控えていた熊本地震や丹波市豪雨災害、あるいは西日本豪雨災害などの被災地にも訪問したいと思っている。また、今後南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、大阪大学や関係団体とも連携し救援活動を行いたい。

平常時の活動については、これまで同様①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱を中心に継続して実施していく。引き続き財源確保の観点から自治会や地元団体を対象に、地区防災計画作成を視野に入れた「まちごと防災セミナー」の開催や、乳幼児向けの防災アニメ「ももたろう」を活用した、幼稚園や保育所、あるいは子育て支援グループを対象とした親子防災講座の実施を行っていきたい。

その他、2025年1月17日に阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、2023年9月から開催している「あれから30年 NVNAD 2025プロジェクト」と題したシンポジウムを継続して5回開催予定である。また、来年1月にはシンポジウム以外に、30周年記念行事を企画開催する予定である。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

(1) 東日本大震災の支援活動

- ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）
- ②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）
- ③野田村ファンクラブ

(2) 丹波市水害の支援活動

(3) 熊本地震・九州北部豪雨災害・令和2年7月豪雨災害の支援活動

(4) 西日本豪雨災害、台風19号豪雨災害の支援活動

(5) 能登半島地震の支援活動

(6) トルコ・シリア地震の支援活動

(7) ココロープの支援活動

II. 次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

(1) 子ども支援事業（子ども防災クラブ、親子防災講座など）

(2) 防災啓発事業

2. 防災意識高揚のための取り込み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（Jネット）総会
- (2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（兵庫県）

4. 新規・継続事業・・収益（事業、会費、寄付など）を高めるために

- (1) 震災30周年事業（①NVNADシンポジウム、②30周年記念行事）
- (2) 避難所運営訓練（西宮市）
- (3) 乳幼児向けの防災アニメ啓発事業の企画
- (4) まちごと防災セミナーの企画
- (5) 防災グッズ&災害食の啓発事業（阪大や企業との連携）

III. 災害救援準備金の取り扱い（2024.4.1現在）

緊急時の活動費用については、災害救援引当貯金を取り崩す。

災害救援引当貯金の残高合計：932,779円

（内訳：近畿労働金庫は476,469円、NVNADは456,319円）